

熊本大学

▼ 熊本地震に係る支援活動の概要



1. 医療支援

派遣先	派遣期間	派遣人数
益城町	4月15日～7月25日	96名（医師85名・看護師7名・検査技師1名・精神保健福祉士2名・作業療法士1名）
御船町	4月15日～4月29日	6名（医師4名・看護師1名・精神保健福祉士1名）
阿蘇市	4月19日～6月30日	102名（医師44名・看護師56名・臨床心理士1名・精神保健福祉士1名）
南阿蘇村	5月7日～5月8日	5名（医師4名・検査技師1名）
西原村	5月7日～5月8日	5名（医師4名・検査技師1名）
美里町	5月14日	2名（医師2名）
宇城市	5月14日～5月15日	4名（医師4名）
宇土市	5月15日	2名（医師2名）
嘉島町	5月28日～5月29日	15名（医師5名・看護師5名・管理栄養士3名・薬剤師2名）

2. 教職員・学生ボランティアの派遣

派遣先	派遣期間	業務	派遣人数
熊本市	4月14日～4月16日	避難所の衛生管理、体調不良者の相談応需、病院付き添い等	教員3名、学生12名
熊本市	4月15日～4月30日	熊本市指定避難所（大学体育館）の運営	教職員105名、学生26名
熊本市	4月16日～4月19日	うまかなよかなスタジアムでの避難物資の搬出入等	学生62名
熊本市、西原村、甲佐町、大津町	4月20日～8月2日	被災者の所有する古文書・資料レスキュー及び調査等	教職員28名・学生5名
熊本市、西原村	4月22日～5月31日	神経疾患の患者向けチラシ配り	医師20名
益城町、西原村、南阿蘇村、美里町 他	4月22日～7月16日	瓦礫撤去、家屋の片付け、農作業、避難所支援等	教員4名・学生372名
熊本市、御船町	5月18日	栄養の偏りを改善するためサプリメント提供作業	学生17名
益城町、御船町	5月18日～6月5日	避難所の引越し、パーティション設置等	学生127名
御船町	5月22日～5月28日	車中泊の現状調査	学生18名
熊本市	5月23日～6月1日	避難所の自治形成推進、炊き出しの補助	学生8名
各被災自治体	6月18日～7月23日	被災自治体のニーズ（片付けやクリーニング、農業など）に応じた活動	学生110名
熊本市	6月25日～	被災地に薬剤師を派遣する薬局での支援のための薬剤師業務	教員10名
周辺自治体（観光地）	7月16日	観光客減少回復のため、被害の少ない観光地の取材・情報発信	学生4名
熊本市、御船町	7月17日～8月20日	子供達との交流	教員3名・学生54名

3. 支援物資の提供

提供先	支援品目等
熊本市指定避難所 (大学体育館)	食料品、飲料水、食器類、毛布、防寒具、電灯、電池、紙おむつ等の提供
熊本市指定避難所 (大学体育館)	車椅子、血圧計、体温計、パルスオキシメーター等の貸し出し

4. 本学の学生・教職員支援、被災者への支援

- ・学生・教職員のメンタルヘルスに関する相談窓口を学内外に設置
- ・外国人の被災学生を対象とした生活相談会を開催
- ・職員を対象とした実務家教員（弁護士）による無料法律相談窓口を設置
- ・被災した学生・教職員に寄宿舍及び職員宿舎を提供
- ・平成28年度前期分授業料の口座振替日を一ヶ月延期
- ・被災学生を対象とした授業料免除及び被災した志願者を対象とした入学検定料免除
- ・「熊本地震復興事業基金」を創設し、「熊大復興の意気や溢るる奨学金」により被災学生を経済支援
- ・学生のボランティア活動を単位認定

5. 研究活動

- ・文学部附属永青文庫研究センター
 - 1) 「熊本被災史料レスキューネットワーク」を立ち上げ、被災者の所有する古文書・資料レスキューを実施
- ・社会文化科学研究科
 - 1) 阿蘇市の被災農地の細密写真測量結果から作成した標高図と圃場断面図を復興に関する住民説明会で活用
- ・教育学部附属教育実践総合センター
 - 1) 熊本県内の幼・小・中・特別支援学校及び大学での心のケアに関する講演・教育指導・カウンセリング
- ・医学部
 - 1) 神経内科は被災地域の見地調査を行い、5月20日の日本神経学会学術大会において報告
 - 2) 神経精神科は7月9日の精神科地方会で震災後の児童部門の対応について報告
- ・工学部
 - 1) 熊本県下の応急仮設住宅並びに集会施設の計画設計に携わる
- ・自然科学研究科附属減災型社会システム実践研究教育センター
 - 1) 4月27日の地盤工学会「熊本地震地盤災害説明会」において熊本県の土砂災害を報告
 - 2) 4月27日の土木学会地震工学委員会「平成28年熊本地震被害調査結果速報会」において被害状況調査を報告
 - 3) 5月14日に熊本県内地域を国土交通省の災害対策用ヘリコプターで被害状況調査を実施
 - 4) 5月18日に熊本県庁において被害報告及び意見交換を実施
 - 5) 「熊本地震災害緊急調査団」を立ち上げ、5月31日の土木学会西武支部「2016年熊本地震」地震被害調査報告会において災害調査の報告

6. その他

- ・4月15日に「熊本地震緊急災害報告」被災地調査速報を減災型社会システム実践研究教育センターHPに公開
- ・被災した糖尿病患者向けの相談窓口を設置
- ・小児科医、精神科医対象の研修会や発達障害児の保護者、関係者向けの講演会を実施
- ・益城町の避難所において被災者対象のものづくり体験活動を実施
- ・小学生向けに益城町のタウン誌を作成するワークショップを開催
- ・南阿蘇村の「熊本地震による梅雨期の影響についての住民避難説明会」を支援
- ・益城町の復興計画に向けた住民意見交換会の支援
- ・地域や自治体のニーズに応えるため7つの復興支援プロジェクトと技術支援ユニットで構成する「熊本復興支援プロジェクト」を設置
 - 1) 震災復興デザインプロジェクト
 - 2) 阿蘇自然災害ミチゲーションプロジェクト
 - 3) 熊本水循環保全プロジェクト
 - 4) 熊本城等被災文化財の復旧・活用支援プロジェクト
 - 5) 産業復興プロジェクト
 - 6) 地域医療支援プロジェクト
 - 7) 復興ボランティア活動支援プロジェクト
- ・持続可能なコミュニティを創出・支援する場を構築するため益城町にサテライトラボを設置